

教育委員会



佐賀中学校

「自分・仲間・未来」

生き方につながる豊かな
学力の保障

校長 井上 一美

はじめに

本校では、教育目標を「人間を大事に」とし、人権「同和」教育を根底に据え、いじめや差別を許さない人としての生き方を大事にしてきました。その人権尊重の精神は、日々の授業や部活動だけでなく、行事においても大切なこととして取り組んできました。

「自分」―基礎学力の定着と充実

「仲間」―仲間づくり

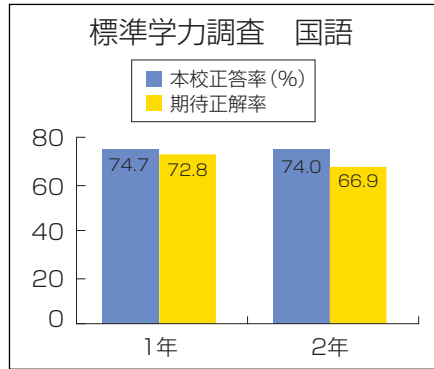
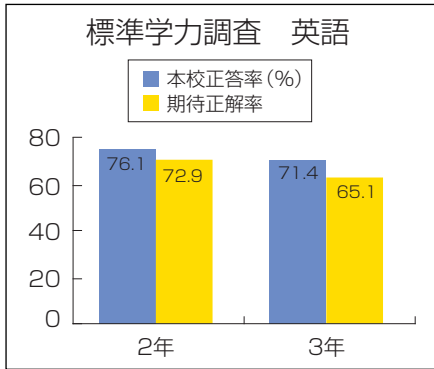
「未来」―校内研修の充実

を本年度の研究テーマとし、教育実践を推進しています。

基礎学力の定着と充実

水曜以外の放課後に15分間行われる基礎タイム（KT）は国語、数学、英語の基礎知識の学習タイムです。その学

習成果は、学期に一回チェックテストで評価され、その後の取り組みに役立てています。5月に行われた標準学力調査でも、期待正答値より高い数値を示し、わずかでも成果につながっています。



仲間づくり

本年度も「Best And Nice Zone AI」をテーマに『佐中



リサイクルショップでは、地域のたくさんの方々からご協力をいただいたおかげで、当日は大盛況でした。

祭』が行われました。これまでの先輩たちが大切にしてきたこと―まごころと地域、世界、佐中の仲間とつながること―を改めて問い直し、実行委員会を中心に2カ月間さまざまな課題を検討、計画してきました。

当日はあいにくの雨、しかも生徒の店舗10店、主旨に賛同してくださった方々の店舗が14店と例年より全体としては少々減ったにもかかわらず多くの皆さんに来ていただきました。また当日だけでなく、生徒の店舗の売り物にしてくださいと「皿鉢さわち」の大きなお皿3枚を手押し車にのせて届けてくださった地域のおばあちゃんや、ウナギ取り名人のご協力など、地域の方に支えられての佐中祭を実感したことでした。



足いっぱい夢では「イチ！ニッ！イチ！ニッ！」クラスみんなで声を出し、心をひとつに1番を目指します。

抜けるような青空と全員参加で行われた『運動会』は、夏休み中の準備不足にもかかわらず力一杯できました。例年行われる「長縄とび」「足いっぱいの夢」の学級対抗競技では、それぞれの学級が知恵を絞って練習して

本年度入学した1年生では『仲間づくりプロジェクト』として、4月には県立幡多青少年の家での集団活動、メールカウンセンシング、「はじめ」についての授業、「めざせ！聞き方名人」、先生と個人的に話してみよう、「つながる」ことの喜びについてなどの活動を、年間を通じて行い、「一ギャップ」と呼ばれる不登



校や学力の低下をなくする取り組みを行っています。

校内研修の充実

「基礎学力の定着と充実」「仲間づくり」を推進するための校内研修では、授業改善や家庭学習の充実、生徒が主体的に活動・表現できる場の設定や生徒会活動の推進、「人権・部落問題学習」の確立を進めています。

また、「話す」「聞く」力を育てるために教職員が外部講師の方々から、「かかわり」やソーシャルスキルについての研修を受けながら、「関わり合いのある授業」の授業研究や「認め合う仲間づくり」を行っています。

入野小学校

「豊でたくましく、自ら考え行動できる子どもの育成」を目指して

校長 山本 岩見

はじめに

平成21年度の入野小学校は、1年生32人、2年生28人、3年生28人、4年生22人、5年生30人、6年生30人。全校児童数は、男子90人、女子85人の計170人です。学級数は、1年生は30人学級指定で2学級に、そして特別支援学級が3学級で、合計10学級です。(10月1日現在)

文部科学省指定

小学校外国語活動推進事業

今年度と来年度の2年間の指定で「外国語(英語)活動」の研究を進めています。

毎週金曜日を授業日に定め、ALTや西部教育事務所指導主事を招聘して研究を進めています。5月には、松山大学の金森強教授を招いて5・6年生の公開授業と講演会を実施しました。町内外の先生方にもたくさん参加していただき、今後の外国語活動のあ

り方について共に研究を行いました。

12月にも、中間発表として、5・6年生の公開授業と松山大学の金森教授の講演会を実施する予定です。



校内研修の充実

『かわり合い・学び合う子ども』を育てる
「聴き合い・伝え合い・学び合い 思いを表現できる授業の創造」

今年度は、右記のテーマで研究を進めています。授業はもちろんのこと、教育活動全般を通してこの取り組みを行います。春のなかよしデイでは、「入野小学校砂浜美術館」としてな



は、「入野小学校砂浜美術館」としてな
かよし班で、砂像作りに挑戦しました。

この班では、「ウミガメ」作り
に挑戦し、いろいろなアイデアを出し合って完成しました。

授業では、子ども同士での教え合い学習を進めています。友だちからアドバイスして



「学びの教室」の紹介

本校では、チャレンジタイムを利用して、自学自習の取り組みを進めています。



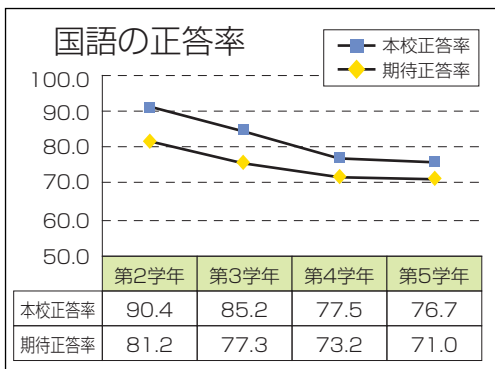
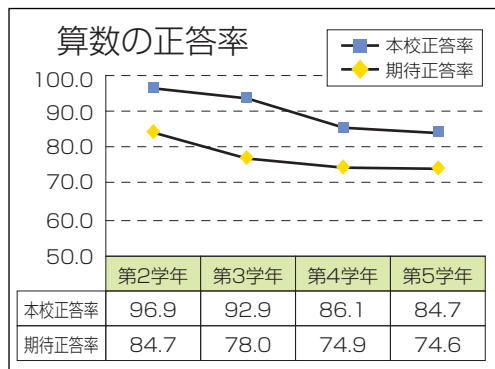
自分のペースで進めていく学習なので、子どもたちは意欲的に取り組んでいます。

「読書タイム」

今年度は、掃除の後の10分間を読書タイムとして取り組みを進めています。年度当初に各学年の必読書を設定し、読み切ることを目標に進めています。また、毎週水曜日は、読み聞かせのボランティアの方が訪問してくれていま

す。子どもたちは、水曜日を
楽しみにしています。

標準学力調査の結果より



しかし、細かく分析を進め
てみると、国語科において「聞
く・書く」「読む」点におい
て少し弱さがあることがわか
りましたので、次のような取
り組みを進めています。

◆授業の工夫改善

- 研究授業(国語力を高める授業のあり方の研究)
- 関わり合う学習方法
- 書く機会の充実(教科日記・道徳日記など)

◆読解力を高める取り組み

- 授業評価表の活用
- 音読の日常化と全校音読発表会

◆読書の習慣化(読書タイム・読み聞かせ・必読書)

- 確かな読解力をつける国語プリント集の活用

◆校時表の工夫とTT体制による個に応じた指導の実施

- くろしおタイム・学びの教室の活用

◆家庭学習の充実

- 宿題の工夫
- 自学自習ノートの取り組み
- 単元テストの活用

◆校長チャレンジ検定

以上、本校の取り組みの一部を紹介しました。

今年度の標準学力調査の結果も、全学年期待正答率を上回った結果となっています。